

施策番号	117	施策名	人権尊重と人権意識の高揚	令和5年度主管課名	総合福祉課
総合計画体系	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	令和5年度課長名	水島 剛
	関係課名	学校教育課 子育て支援課 生涯学習課		シート作成者	水島 剛

1. 施策の対象と意図の指標

①施策の対象(誰、何が対象か)		③対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
ア	町民	→	ア	人口	人	見込値 実績値	12,497 12,358	11,627 12,116	11,455	11,280	
イ		→	イ			見込値 実績値					
ウ		→	ウ			見込値 実績値					
②施策の意図(対象をどうしたいのか)		④成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
ア	人権への意識を高め、人権を尊重した行動をしてもらう	→	ア	児童及び高齢者虐待、DVが人権侵害だと知っている町民の割合	%	目標値 実績値 達成率	92 92.6 100.7%	93 95.6 102.8%	94 94.7 100.7%	94.5 100.2%	95 99.7%
イ		→	イ	高齢者虐待件数	人	目標値 実績値 達成率	4 6 66.7%	3 9 33.3%	2 5 40.0%	1 20.0%	0 0.0%
ウ		→	ウ	児童虐待件数(要保護児童)	人	目標値 実績値 達成率	30 24 125.0%	27 39 69.2%	24 34 70.6%	21 61.8%	18 52.9%
エ		→	エ			目標値 実績値 達成率					
⑤成果指標設定の考え方		ア、児童・高齢者虐待及びDV等が人権侵害にあたることの町民の認知度 イ、ウ、件数が人権侵害の指標と考えられるため			⑥成果指標の把握方法と算定式等		ア、町民アンケート調査(対象者1,000人中432人が回答) イ、介護保険運営委員会資料 ウ、子育て支援課資料				

2. 施策の役割分担

施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	①住民の役割(自助・共助・協働でやるべきこと)	②行政の役割(町・都道府県・国がやるべきこと)
	<ul style="list-style-type: none"> 町民は、人権についての理解を深め、一人ひとりの人権を尊重する。 地域や団体は、人権侵害の防止と早期発見に努める。 事業所は、一人ひとりの人権を尊重した職場環境づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育、生涯教育の場において、人権意識の高揚を図る。 いじめや虐待防止のため、警察や民生委員・児童委員等、関係機関との連携強化に努める。 人権問題などに関する相談体制を確保する。

3. 評価結果

5年度 の 評価結果	1. 施策の成果水準とその背景・要因	
	①施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か?その要因は?)	
	<ul style="list-style-type: none"> 町民アンケートによると、児童・高齢者虐待を理解している割合平成29年度以降90%を越えており、人権啓発活動の成果が表れていると思われる。高齢者虐待や児童虐待の件数は前年度より減少したが、依然とし目標より多くの虐待件数がある。これは、虐待の認識が進み、通報や相談が増えたためと思われる。 	<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input type="checkbox"/> 目標値どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を下回る
	②成果指標の時系列比較(成果は向上したか?低下したか?要因は?)	
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の虐待は増加傾向にあるが、これは高齢者虐待への理解が進み関係機関との連携による早期早期発見につながっているものと考えられる。 児童虐待については、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーが、支援の必要な子どもを早期に発見する体制整備や、関係機関が連携したと考えられる。引き続き、保育園・幼稚園、小中学校を通じて要保護児童の見守りや情報共有を行うと共に研修への積極的な参加等により職員の虐待対応力の向上に努め、重大な事案への抑制を図る。 	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した
	③他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)	
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待の件数は公表が無いため、他団体との比較は困難であるが、早期発見により一定の抑止成果があったと思われる。児童虐待件数については、津山児童相談所管内の美咲町・勝央町と比較し若干多くなっているが、現状では多子世帯が多く、児童虐待件数は世帯の子供の人数全てがカウントされることにより多くなったものと思われる。いずれにしても、潜在化している問題であることから、関係機関との連携や早期発見に向けた積極的な対応が必要である。 	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
	2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など	
	<ul style="list-style-type: none"> 町民アンケートには、パートナーシップ制度の整備希望の意見があり、近隣自治体の動向を踏まえ検討していく。また、DVIに対する認識や男女格差を是正する声が寄せられており、関係部署及び関係機関と連携をはかり、重点的に取り組んでいく。 	
	3. 施策の振り返りと総括(5年度の事務事業や取組の成果は?うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)	
①施策の成果向上につながった主な事務事業	人権啓発活動地方委託事業費	
②施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業	人権啓発活動地方委託事業費	
③施策全体の振り返りと総括		
<ul style="list-style-type: none"> 認知症の理解促進とコラボで人権講演会を開催し、多くの方にご来場いただきアンケートからも満足度が高かった。 人権学習への参加や人権運動協議会等各種団体への支援を実施した。 南小学校で人権スポーツ教室を開催しスポーツ選手等から子供たちに思いやりの大切さやいじめ問題に対する体験などのメッセージを伝えることにより、人権についての理解を深めた。 		
4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)		
①今後施策の成果向上につなげる主な事務事業	人権啓発活動地方委託事業費	
②施策全体の今後の課題と改革改善の方向		
<ul style="list-style-type: none"> 差別や偏見のない社会を形成するために、引き続き講演会、啓蒙活動、虐待やいじめの早期発見・早期対応を進める。 虐待、いじめは表面化しにくい問題であり、関係機関と連携をより密にして、取り組む。 人権講演会については、昨年度に引き続き実施する。 街頭やパレードで人権啓発活動をおこなう。 		